

## 西村大臣記者会見要旨

令和2年9月9日（水）17時45分～18時06分（21分）

（於：中央合同庁舎第8号館1階S101・103会見室）

（大臣冒頭発言）お待たせいたしました。私から2点申し上げます。

まず新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、コロナ対策サポーターとして何人かの方にもう既にお願いをしているところでありまして、1日には6名の方にサポーターになっていただきましたけれども、本日新たにスピードスケート選手の小平奈緒さん。女性であります。それからプロ野球解説者の梨田昌孝さん。それからバーチャルシンガーの初音ミクさんに御就任いただくことになりました。それぞれのお立場から国民の皆さんに正確な正しい知識を、あるいはコロナウイルスについての状況など、あるいは対策などについてしっかりと理解を深めていただくために、それぞれのお立場で発信をしていただこうと思っております。

既に何人かの方にはメッセージを頂いております。内閣官房のホームページで発信をしているところでもありますけれども、本日は梨田さんからメッセージを頂きましたので、ご覧いただければと思います。

（梨田）梨田昌孝です。新型コロナウイルスの感染が続いています。周りに感染者はいないし、自分は若くて体力があるから大丈夫と思っておりますか。でも新型コロナウイルスには誰でも感染します。場合によっては命にかかわります。まずは3密を避けること。手洗い、マスクをすることが大事です。何より大事なことは、お一人お一人がかげがえのない御自身を大切にすることです。そのことが家族や大切な人たちを守ることにあります。そしてみんなを守ることにあります。

感染の著しい拡大は、皆さんの努力でこれまで何とか持ちこたえてこれました。ちょっとおかしいなと思ったら、とにかく休んでください。お医者さんに見てもらってください。無理しないでください。まだまだ長くつらい日々が続くかもしれせん。でも明けない夜はありません。ありがとうございました。

(大臣) 御案内のとおり、梨田さん御自身がコロナウイルスに感染し、そして大変辛い思いをされた。まさにそうした経験を踏まえた、実感のこもったメッセージだと思います。大変感謝をしているところであります。既にこの他にもイニエスタ選手、菅野選手、三木谷浩史社長からのメッセージも含めて、内閣官房のコロナ特設サイト「c o r o n a . g o . j p」で公開中でありますので、ぜひご覧いただければと思います。

ちなみに小平奈緒さんは長野県の病院に所属しておられて、御自身もSNSなどでこのコロナについて発信をされています。それから初音ミクさんは言うまでもなく、日本を代表するキャラクターで、若者にも人気があるということ、それぞれの立場で発信をしてもらえればと期待をしているところであります。こういった皆さんにお願いをしておりまして、メッセージもいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それから2点目であります。小池知事が来られまして意見交換を行いました。まさに足元の感染状況について情報共有をいたしまして、緩やかではありますけれども、減少傾向が続いているという状況を確認いたしました。明日、東京ではモニタリング会議を開くということ聞いております。そこで議論の結果を踏まえて、私どもも11日にも分科会を開いて、足元の感染状況の分析をいただき、今後の対策について御議論をいただこうと思っております。

「G o T o トラベル」事業について、東京都の取り扱いなど要望をいただきました。要望書で何点か取り上げられておりますけれども、一つ目は東京に関する風評の被害です。「東京の方お断り」などの運動をしているところもあるということでありまして、まさに私自身、この問題についての動画も公開しておりますけれども、ワーキンググループを設置して、そこでも議論を深めて対策を強化していきたいと思っております。差別、偏見はあってはならないことでもありますので、しっかりと対応していきたいと思っております。

それから東京都の方々に対する「G o T o トラベル」事業について、これまで対象外とされていりましたが、今後対象となる場合に、さらにしっかりと支援をお願いしたいということ、御要望がありました。国交省では「G o T o トラベル」事業について予算の管理を、ブロック別に行っておりまして、東京都の方が使える予算はしっかりと確保していると思っておりますが、

こういったことについては国交省にしっかりと伝えて、対応してもらえればと思っております。

11 日にも分科会で感染状況などを議論いただきたいと思っておりますが、いずれにしても感染が収束しているわけではありませんので、引き続き国民の皆さんには今のメッセージのとおりに、お一人お一人のお立場で感染防止策を徹底していただくということが大事でありますので、「新たな日常」を作っていくということで、感染防止策と社会経済活動との両立をぜひ図っていただければと考えています。

そのために「新たな日常」を構築していくということが大事でありまして、既にこれまでも何度も申し上げていますが、感染防止と社会経済活動の両立でありますけれども、狭い意味では手洗い、マスク、消毒、換気、大声禁止、3密回避ということ。あるいは「C O C O A」をインストールして、クラスター対策をしっかりと効率的に行っていくということ。御自身の身を守るということも大事であります。それから業種別ガイドラインの徹底。それから梨田さんが言われていましたけれども、体調の悪い方は出勤しない・させない、また、外出しないということが大事でありますので、ちょっと何かおかしいなと思えば休んで、そして相談センターに電話する、医師に相談するという対応をしていただければと思います。

それから広い意味では、やはりデジタル化を進めていく。オンライン会議であるとかハンコの廃止、キャッシュレス化、こういったことを徹底していくことが大事だと思いますし、テレワーク、時差出勤、時差通勤や自転車通勤、あるいは多様な働き方、東京一極集中是正、こういった大きな政策も含めて、「新たな日常」をみんなで作っていただければと思います。経済活動、社会活動との両立を図っていかなきゃいけませんので、感染防止策はそれぞれの立場で徹底をしていただければと思います。

もう1点、小池知事から「国際金融都市構想」についてお話がございました。東京都において検討会を設置するということがあります。国と連携をしたいということでありまして、当然、東京は国際金融都市にしていかなきゃならないわけがあります。問題意識を共有しておりまして、まさにいろいろな手続の英語対応迅速化、ワンストップ化、それから生活環境、インターナショナルスクールであるとか、英語で対応できる医師、医療機関

であるとか、それから慣れ親しんだ家政婦さんとかこういった方を連れてこられる、そういう生活環境とか、それから様々な税制も含めた環境整備、支援策、誘致策、こういったことも幅広い検討を、ぜひ政府全体で進めていきたいと考えております。

東京都でまず場を設置するということでありますけれども、当然、我々は我々で、国でも検討を進めていくわけで、どういう形で連携をしていくのか。これは新内閣発足ということもありますので、そういったことも見ながら、どういう形になるにしろ、東京都の取り組みについては国も連携して対応していくということになりますので、全力で応援をしていきたいと考えています。

以上2点に加えて感染者の状況については、東京都から今日は149名という報告がありました。昨日の細かい数字はまだ出ておりませんが、陽性率も3.1%まで下がってきております。ほとんどの県で4%台。ちょっと高かった福岡、沖縄も2%台となっていますので、かなり減少傾向が明確になってきているのではないかと思います。

これは東京都の陽性率です。3.1%まで下がっています。

それから60代以上の方は151名ですから、かなり人数的にも少なくなってきております。

他の県の1日の60代以上の数は、大阪18名、神奈川も17名ということで、このあたりは要注意であります。沖縄県が高かった数字も4人まで来ております。曜日のでこぼこがありますから、1週間をならして見なきゃいけないけれども、沖縄も病床が50%を切ってきましたので、こういったところでいい傾向が続いております。この傾向がしっかり続くように思っております。

ただ、繰り返しになりますが、重症化される方は遅れて来ますので、このあたりはよく注意しなきゃいけないと思いますし、東京都でも昨日亡くなられた70代、80代、90代の方は、やはり基礎疾患をお持ちの方だと報告を受けました。高齢者、基礎疾患がある方、こういった方々には更に特段の注意をして頂いて、感染が広がらないようお願いをしたいと思います。

東京では高齢者施設や医療機関でPCR検査など幅広く行われてきておりますから、4月、5月に比べて院内感染、施設内感染はかなり減っています。こういった検査体制が整ってきていることもその要因だと思いますが、それぞれの施設、病院で

もいろいろな経験を積んできた、その結果、成果ではないかとも思います。いずれにしても重症化しないように、命を守れるように、病床の体制をしっかりと確保していきたいと考えています。私からは以上です。

（問）大臣が先ほど御説明された、分科会を11日に開く予定であるということですが、そこで議論されるテーマについて。

まずイベント開催の制限の緩和についてですが、現状では9月まで続くということになっていますが、4連休が始まる19日に前倒しして緩和するという方向で調整されているのでしょうか。また、人数制限は5,000人以内に抑えるということですがけれども、こちらも緩和をして、例えば1万人であるとか2万人であるとか、そういった方向で調整されているのでしょうか。

もう一つ、先ほど「G。T。トラベル」で東京除外をなくすということですがけれども、これも都内の感染状況も抑えられつつあるということで、月内でも東京を加えるということを考えていく方向でしょうか。

（大臣）まずイベントの開催制限についてであります。11日にも分科会を開いて、専門家の皆さんに足元の感染状況の分析を頂いて、その上で政府としてしっかり判断をしていきたいと考えています。大きなイベントについてはプロ野球機構、Jリーグから5,000人の撤廃ということの要望を受けておりますので、足元の感染状況は減少傾向にあるということが確認できれば、専門家の皆さんに御評価をいただければ、こうした要望をしっかり受けとめて対応していければと考えています。

それから他方で、今日実はびあの矢内社長とも連絡を取って、スポーツは今申し上げたように大規模な事業体は別として、特に文化芸術関係、あるいはエンターテインメントの関係で非常に厳しい状況にあって、売上が8割減のような状況が続いている業者も多いという中で、何とか緩和なり支援策をとということでお話を頂いております。

既に御報告しておりますとおり、スーパーコンピュータ「富岳」などを使って、換気がよければ、あるいは一定の場所で注意をすれば、前の席とか横の席とか少し工夫をすれば、きちんと対応すれば、かなり緩和ができるのではないかという結果も出ておりますので、こういった科学的な知見も踏まえながら。特に大声を出さないクラシックコンサートとか、歌舞伎もかけ

声がなければかなり静かに聞けるわけでありますので、こういった文化芸術関係、あるいはエンターテインメント関係で大声を出さないものについては、一定の緩和ができないかということも、専門家の皆さんに御議論いただければと考えています。

そして11日にもし専門家の皆さんで開催して、そこで御判断いただければ、今申し上げたような一定の感染防止策はやっぱり徹底してもらわなきゃいけませんので、こういったことについてそれぞれの事業体が準備する期間もいるでしょうから、1週間程度のそういった期間を考慮すれば、19日からにも間に合う可能性が出てくるということであります。いずれにしても専門家の皆さんにしっかりとまず足元の感染状況を分析いただき、それから緩和するとしても、どういう感染防止策を講じていく必要があるのか。そういったことをしっかり御議論頂いて、それを事業者の皆さんに徹底していただくことが大事だと考えています。

それから「G。T。トラベル」で東京を対象にするかどうかについては、明日、東京のモニタリング会議が開かれると聞いておりますので、そこで東京の専門家の皆さんの御判断を受けて、都知事が方向性を出されると思いますので、それを踏まえて判断をしていければと考えています。もちろん東京都のそういう意向と調和を取りながら進めていかなければいけません。そういうことと併せて足元の感染状況で、全国における東京の状況を御評価頂いて、最終的に専門家の御意見も伺って判断をしていくということになります。

(問) ワクチンのことでお伺いしたいと思います。

アストラゼネカ社が副作用が出たということで治験を中断しまして、また、アストラゼネカを含む大手の9社が共同声明で、早期の承認は求めないという発表をされています。政府としてワクチンの確保を大きな課題に挙げていて、来年前半までに国民全員が受けられるということで準備されていると思いますが、今回の製薬会社の発表を受けて、そういった対応に影響が出るのかどうか、また、現状でどのような対応を考えていらっしゃるのか教えていただけないでしょうか。

(大臣) 御質問の、アストラゼネカ社の新型コロナワクチンのイギリスでの治験におきまして、重篤な有害事象が発生したということから、英国のみならず、米国における治験における新

たな組み入れ・投与を一時中断した、との報道を私も聞いております。厚生労働省からアストラゼネカ社に問い合わせをしたところ、日本においても事実の詳細な調査のため、新たな組み入れ・投与を一時中断したとの報告を受けていると伺っています、といった報告を私自身が受けました。

厚生労働省においては一般的に、治験において未知の重篤な有害事象が生じた場合においては治験を一時中断し、生じた有害事象が被験薬によるものなのかどうか、それから治験再開に向けてどのような安全対策を講じるか、こういったことを検討した上で治験継続の可否が判断されることは、通常のプロセスと言えると聞いております。いずれにしましても、厚生労働省がアストラゼネカ社から詳細な情報を収集しているところでありますので、これ以上のコメントは差し控えたいと思います。ありがとうございました。